

# 人権さんだ

6 月号

令和6年(2024)

No.543

男女共同参画って？

《問い合わせ》  
健康福祉部 人権共生推進課  
TEL : 559-5148 FAX : 563-7776  
E-mail : jinken\_u@city.sanda.lg.jp

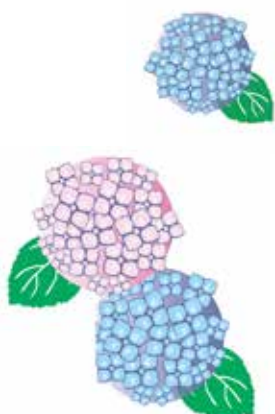


## 男女共同参画週間

毎年6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」です。

平成11(1999)年に制定された「男女共同参画社会基本法」の目的や基本理念について国民の理解を深めるため設けられています。

性別によって役割が決められるのではなく、男女が対等なパートナーとして自分の意思で物事を決めることができ、あらゆる分野で活躍できる社会、そして一人ひとりが豊かな人生を送ることができる「男女共同参画」の社会をめざし、今号では、私たちに身近な家庭生活での家事分担を振り返りながら考えてみましょう。



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

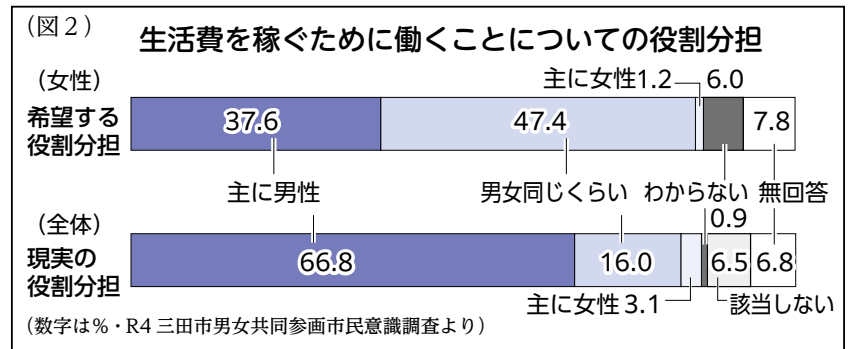
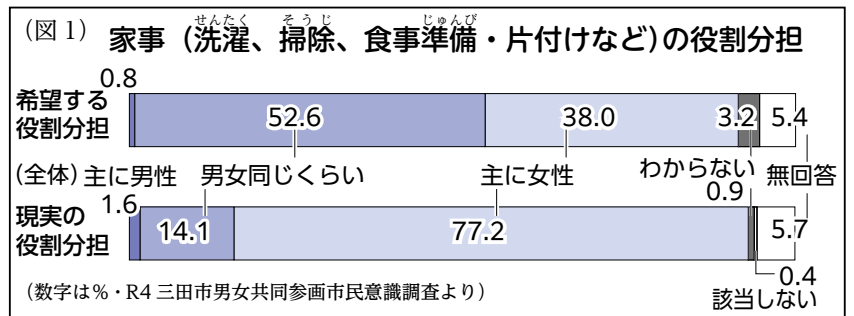
# 家事時間の理想と現実

令和4（2022）年3月に三田市が実施した「三田市男女共同参画市民意識調査」では、「家庭での家事の役割分担の希望と現実」について質問を行い、次のような回答がありました。

「家事（洗濯、掃除、食事準備・片付けなど）」に関して、希望する役割分担は「男女同じぐらい」が全体で52.6%と最も高いのですが、現実の役割分担では「主に女性」が77.2%と最も高くなっており、回答の傾向では実際の家事分担は女性に偏っているようにみえます。（図1）

一方で、「生活費を稼ぐために働く」ということに関しては、女性の希望は「男女同じぐらい」が47.4%と最も高いのですが、現実の役割分担では「主に男性」が全体で66.8%と最も高くなっています。（図2）

男性と同じくらい働きたいと考えている女性のうち、それが実現できているのは半分以下となっています。



みなさんの家庭では家事をどのように分担していますか。一人暮らしの人はすべて一人で担っていることもあれば、介護サービスなどを受けていることもあるかもしれません。二人以上で暮らしている人は、家事分担が誰かに偏っていることはないでしょうか。

食事は準備は好きだけど、後片付けは嫌いなど自分自身の好みや得意不得意もあると思います。

## だれもがどれも

## 選べる社会に

（令和6年度 男女共同参画週間 キャッチフレーズ）

日本では、性別で役割を分担する傾向が強いといわれています。

共働き世帯が増加傾向にあっても女性が主に家事を負担することが多いことは、男女共同参画を進めにくくする障壁の一つと言えるでしょう。令和5（2023）年の日本のジェンダーギャップ指数（※1）は世界146カ国中125位という状況であり、だれもが自分の意思で様々な分野に挑戦し活躍するためには、社会全体で障壁を取り除いていく必要があります。

NHKで放送中の連続テレビ小説「虎に翼」は、昭和13（1938）年に日本で初めて女性の弁護士になった三淵嘉子さんをモデルにしたドラマです。日弁連（日本弁護士連合会）の統計によると、昭和25（1950）年の女性弁護士の割合は0.1%でした。それが令和5（2023）年には19.8%になっていきます。昔と比べて女性の割合は増えていますが、決して多くはありません。

性別にとらわれることなく、だれもがどれも選べる社会でありたいものです。

（※1）経済、教育、健康、政治の分野ごとに男女の割合を算出した指数。日本は教育と健康の値は高いが、政治と経済の値が低い。

今号では、家事の分担とおして、男女共同参画について考えてきました。家事の分担を考える前に、家事時間を減らす考え方もあります。方法や順序を工夫したり、家電製品をうまく使ったりすることで、家事時間を短縮することができ、家族でアイデアを出し合っ、家事時間の短縮に取り組んでみませんか。



使ってみよう  
「やさしい日本語」

「やさしい日本語」とは、外国人にもわかりやすいように、言葉や話し方に配慮した、「易しい・優しい」日本語です。阪神淡路大震災をきっかけに、外国人に災害情報を早く確実に伝えるために考案され、普段のコミュニケーションにも使われるようになりました。

「やさしい日本語」は、コツを押さえれば簡単に使うことができます、外国人とのコミュニケーションに役立ちます。「やさしい日本語」には正解がなく、相手が理解できるよう工夫して使うことが大切です。

使い方のポイント

尊敬語や謙譲語を使わず、丁寧語で伝える。文末は「です」「ます」で統一する。

外国人が日本語を学ぶ際には、丁寧語の「です」「ます」を先に習います。丁寧語を使うことで、多くの人に理解してもらいやすくなります。

(例)

お宅にお伺いします。 → あなたの家に 行きます。

お越しいただく必要はありません。

→ 来なくても いいです。

こちらにご記入ください。 → ここに 書いて ください。

ご本人確認書類をお持ちですか。

→ 在留カードや 車の 免許証は ありますか。



市民啓発講座のご案内

暮らしの時間割  
人生100年時代を  
どう暮らす!?

人生 100年時代の到来がささやかれる昨今、ライフスタイルや価値観の多様化など、時代の変化に戸惑うことも多いのでは!? 仕事・家事・育児・介護など、様々な役割が求められるなか、まずは、日々の暮らしを見直し、整えるところから始めてみませんか。



【講師】野間 和美さん

【日時】令和6年6月29日(土)

10時~11時30分

【場所】三田市立図書館本館 2階  
コミュニティホール

【対象・定員】どなたでも・50名

【申し込み】締切りは6月21日(金)17時まで

※手話通訳・要約筆記・一時保育の必要な方は  
6月14日(金)までにお申込みください。

会場内でお子さまと一緒に聞いていただく  
ことも可能です。

※申し込みは右記二次元

コードからお申込みください。

《問い合わせ》

健康福祉部 人権共生推進課

TEL: 559-5148 FAX: 563-7776



令和5年度  
人権ポスター・標語受賞作品



武庫小学校6年(前年度)  
高瀬 大空 さん

みんな違つ  
「普通」を他人に  
押しつげず  
八景中学校1年(前年度)  
秋山 瑛祐 さん

くらしの人権相談

TEL 559-5062 FAX 559-5063

月曜~金曜 9時~17時(※祝日・年末年始を除く)

専門相談員による性的マイノリティ特設電話相談(予約)

TEL 559-5062 FAX 559-5063

月曜~金曜 9時~17時(※祝日・年末年始を除く)

※専門相談員との相談日は予約後に調整

人権擁護委員会による定例人権相談(予約)

TEL 559-5148 FAX 563-7776

《次回相談日》6月27日(木) 13時~16時

# 「人権」について学ぶことは

けやき台中学校教職員(前年度) 八木 和也さん

## 人権感覚を磨く

## 外国籍を持つ子どもたち

私は、三田市で教員となり数年が経ちますが、その間、インターネットの普及など世の中の大きな変化とともに、様々な人権問題が生じ、変化し、子どもたちや教育を取り巻く環境も大きく変わりました。そんな中、私自身、昨年開催された、三田市の人権教育研修会や「人権と共生社会を考える市民のつどい」に参加したことで、「常に学び、自分の人権意識や古い知識をアップデートしていく必要がある」ということを強く感じました。

今、三田市でも「外国籍を持ち、日本語を上手く話せない子どもたちへの教育」が新たな課題となっています。昨年、けやき台中学校では、外国籍を持ちながら日本で生活する子どもに関する職員研修を行ったうえで、生徒や保護者の方を対象とした人権講演会を開催しました。学齢期にネパールから来日した講師の方から、これまでの経験や日本人に望むこと、クラムスメイトにわかってほしいこと、してほしいことなどを聴かせて頂きました。子どもたちだけでなく、教員である私たちにとっても、

共通の言語を持たない人々と共に学習する機会を想定した学びが必要だという気づきを得ることができました。この研修や講演会を通じて、今、世の中で課題となつていく「多文化共生」について考え、取り組んでいく良い機会となりました。

## 部落問題学習、より良い社会をめざして

けやき台中学校では、2学期に「部落問題学習」を行っています。1年生では、迷信や偏見に流されず正しくものごとを見る大切さ、2年生では、「水平社運動」を中心に差別解消に向けて立ち上がった先人たちの思い、3年生では、現代社会に残る差別について考え、差別をなくす主体者としての資質を身につける学びをしています。どの生徒も教師の語りに真剣に耳を傾け、意見を交流し、考えを深めています。「水平社宣言」採択から約100年の月日が経ちますが、自分自身、今でも先人たちの思いに胸が熱くなります。ある生徒は、授業後に『人の世に熱あれ、人間に光あれ』という言葉は私の一番好きな言葉になりました』と話

してくれました。宣言に込められた「熱」や「光」を生活に生かし、更に広げていけるように、子どもたちとともに考え、学び、より良い社会をつくる一翼を担えるよう、これからも頑張りたいと思います。

## 学び続けることの大切さ

私は、教師となったことで、さまざまな「人権」について学ぶ機会を得ることができたと思っています。「人権」について学ぶことは、人を大切にする学び、人生の質を高める学び、自分も周りの人も幸せになる学びだと思っています。近年、部落差別解消推進法や子ども基本法が制定されるなど、時代の変化とともに、私たちを取り巻く人権問題も変化しています。常に学ぶ姿勢を大切にし、学んだことを多くの人に伝えていくことができたらと考えています。

## 人権さんだアンケート

ご感想や今後取り上げてほしいテーマをお寄せください。



狭間中学校2年(前年度) 菅長 楓さん